

皆様の御協力誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

小笠原会員……地区大会始めて出席させていただきました。

鈴木 会員……従業員が全道一になり優勝致しました。

中里 会員……BOXに協力。

◎ 出席報告

会 員 数	63名	出 席 率	函 館 北 10月 4日	90.11
出 席	45名		函 館 東 10月 3日	90.14
欠 席	18名		函 館	9月28日 91.76
他クラブ出席	10名		函館五稜郭	9月29日 100.00
出席合計	55名		函館亀田	10月 2日 100.00
除 外 者	2名			

次回・10月25日  
プログラム

夜間例会兼クラブアッセンブリー  
国際ソロプチミスト函館との合同懇親会  
6:00 函館国際ホテル

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル  
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870



# 函館北ロータリークラブ会報

ヒュー・M. アーチャー 国際ロータリー会長テーマ

## ENJOY ROTARY!

### ロータリーを楽しもう!



10月18日 卓話中の菅野剛造氏

《第1274回例会》 第17号 10月25日(水)

### 本日のプログラム

夜間例会・クラブアッセンブリー  
国際ソロプチミスト函館との合同懇親会

★会長 松橋 博 ★幹事 西尾 昌一

1989~1990

〈第1273回例会〉第 16 号

## 10月18日の記録

◎司 会 松橋 博 会長

◎斉 唱 我等の生業

◎ピジター 韓国釜山R.C. 金 甲鎔君 函館R.C. 竹田 功君他8名  
 函館東R.C. 三谷明良君他8名 五稜郭R.C. 名取晃一君他2名  
 亀田R.C. 高木幹雄君

◎ゲ ス ト 日刊政経情報社 代表取締役 菅野 剛造氏

◎会長報告 松橋 博 会長

○本日9時過ぎサンフランシスコで大きな地震があり新谷会員のこと心配しましたが、昨日現場を離れてる日程ですので安心していきます。彼は市長とウォーフフロントに関して旅行されております。

○久保会員・宮崎会員が函病え入院しており、先週幹事とお見舞に行ってきた。久保会員は心臓にバイパスを通したのですが最近になり顔色も良くなり、12月の家族会には元気で参加して頂きたく申し上げて参りました。

宮崎会員に付きましては、4～5日前ですが手術をすると聞いてましたが、その経過は未だ聞いておりません。口の方はあい変わらずお元気でおられました。

○地区大会事務局からのお礼状が参っております。

○六崎会員が小田原R.C.へメーカーキャップされた際、バナーを頂いて参りました。回覧致します。

○第251地区の秋永バスタガバナーから会長と情報委員長にハガキが来ております。ロータリアンがロータリーの事を知るための入門書を1部500円です。申し込みは幹事迄

◎幹事報告 西尾 昌一 幹事

○他クラブの例会の変更をお知らせ致します。10月23日(月)亀田R.C.、10月24日(火)

東R.C.、10月26日(木)函館R.C.、10月27日(金)五稜郭R.C.移動例会及び夜間例会になっておりますのでおまちがえのない様お願い申し上げます。

○ロータリーの名言カレンダーの申し込みを受けております。1部1,500円です。又本日合同会員名簿をお渡し致しました。追加御希望の方は1部2,000円です。ご希望の方は幹事まで申し込んで下さい。

◎親睦委員会 吉行 信幸 副委員長

## ニコニコBOX投入報告

川村(昭)会員……ゴルフコンペで優勝しました。

吉田 会員……川村さんにあやかり22日の喜多会優勝をめざします。

金沢 会員……韓国より友人が来ました。

竹野 会員……地区大会で表彰されました。

山本 会員……結婚祝のお花ありがとうございました。31年目です。

飯田 会員……ホームクラブ欠席がちのお詫びです。

佐々木会員……BOXに協力

安藤 会員……最近のゴルフコンペでBBを取りました。つくづく歳を感じました。

立花 会員……ホームクラブ欠席がちのお詫びです。

佐藤 会員……結婚祝いのお花ありがとうございました。

小笠原会員……結婚祝いのお花ありがとうございました。

◎プログラム委員会 飯田 貢一 委員

新谷委員長はサンフランシスコを離れて今日はボストンだそうです。今日のゲストは皆さん御存知の日刊政経の菅野剛造さんです。2年程前当クラブで分県のお話をして頂いたと思います。昭和19年4月24日に函館で出生され、昭和43年に社長に就任され現在に至っている方でございます。日刊政経は月水金の週3回発行され月12回ですが月送料込み2,500円とのこと。現在は情報の時代ですの

で正確な情報を知るために感謝致しております。今日は「分県」と云う事でございます。最後までご静聴をお願い致します。

◎卓 話 「分県について」

日刊政経情報社 代表取締役 菅野 剛造 氏

今、街づくり、地域づくりということが盛んに論議されて参りましたが、その実現のためには、何よりも、そこに住む人達全てが、周囲の人、或いは、相手のことを理解してあげることが大事だと思います。特定の団体、特定の個人が、自ら頑張っても、全体の気持ちが集まらなないと、街づくり、地域づくりは難しいと考えるからです。

では、どうしたら、みんなの気持ちをまとめることが出来るかですが、基本には、南北海道は、他の道内地域とは全く異なった文化圏であり、従って、風土も特性も異なるという事実を、この南北海道に住む者全てが共通の認識とする作業が必要となりますので、先ず、この作業を進めることから始めなくてはなりません。

南北海道は、その誕生の歴史から言っても、他の道内地域とは特性も風俗も大きく異なります。しかし、にも拘らず、ただ北海道の一地方としてでしかこれまで扱って来て貰えませんでした。それは、北海道が日本全土の22%もの面積を抱え、東北6県の合計よりも広大なのに、明治以来、100年余に亘って、たゞ一つの行政体のままに置かれてきたからに他なりません。東京の一極集中が問題になっておりますが、北海道では、札幌の一極集中が問題となっているので、即ち、北海道では、一方では過疎、一方で過密の異常現象が惹起せられています。私の言わんとする共通認識とは、正に、そのことなのです。

北海道の中で、過密化する地域と過疎化する地域があるということは、ひとつは、住民の声が行政に反映されていないこと、ひとつは、北海道の行政が道中央に陥っていることを、夫々物語っております。

札幌圏の面積は全道の僅か1.4%、そこに全道人口の28%が住んでおります。

政治、経済、文化、情報のあらゆる中枢機能がそこに集中し、また新たな人口増加をもたらします。人の体に例えるなら、頭脳も胃腸も肝臓も心臓も全て1ヶ所に集まっている感じで、正に、東京一極集中と同じ現象を呈しているのです。むしろ、中枢機能が特定の地域に偏る現象は、他の県にもあることでしょう。しかし、北海道が深刻なのは、その大きさの故であります。函館と札幌の間がジェット機で30分、自動車でも5時間というのは、異常な広土の傍証であります。これは、道政の問題ととらえるには余りにも大きな問題です。むしろ、北海道をひとつの行政区分として、これまで放置してきた国の責任というべきであり、こうした現状を許して来た道民の無関心さにも責任があります。札幌圏の肥大化を止め、併せて、その他地方の繁栄発展を図るには、権限の大巾な地域移譲以外に道は無いと考えます。自治体の範囲は、地域住民が社会や経済基盤を共通のものとして認識し得る規模が適当であり、北海道の現状は、異常というしかないのです。北海道の分県が必然の帰結とする論拠は、そこに在るのです。

東京一極集中是正を叫ぶ余り、道州制ということが日本国中で論議されております。幾つかの府県を合同して、日本をアメリカの様な州の連合体にしようとする構想であります。これによると、北海道は「北海」という「道」だから、その分県というわけですが、いずれにしても、道州制の論議は、別に今に始まったわけではありません。

大別して、戦前・戦中、昭和40年代の高度成長時代、そして、現在、3回の波がありました。しかし、いずれも疑問符がつくものであると言って過言ではないのです。戦前・戦中のものは、当時が軍国時代であったことを考えれば、中央集権化を促進させるためだけのものであって議論も要りません。40年代のものは、高度成長の波に乗って、大企業、財界が、その導入に極めて熱心であったのであり、大開発に絡む許認可作業のスピード化を図るなど、資本主義に則った経済的な目的で提唱されたもので、決して、国民の声、住民の声を反映したものではありません。現在のものは、深刻な東京の一極集中を是正し、それによって日本の均衡ある発展を図っていかうとする発想なので、一見矛盾が無い様に思えます。



しかし、東京の一極集中は、地方への大巾な権限の移譲が大前提であります。理想とするところは、アメリカの州の様な、強力な権限が付与された州の実現であるのですが、現実問題として、憲法改正など重大作業を伴うことを考えれば、実現は不可能とするのが正しい見方でありましょう。つまり、現在、提唱されている道州制は、市町村という団体の上に、県という団体を乗せ、更に、道、或いは州という団体を乗せるという3重構造を形成させるだけのものであり、権限も何も無い、ただの広域行政体を作るだけなのです。

現在、日本で唯一、道州制による自治体として運営されている北海道で、道州制による矛盾の是正が叫ばれているのに、そうした実態が何等顧みられず、日本中に矛盾に満ちた権限を伴わない道州制を導入しようというのは、実にナンセンスと言うしかありません。

大前研一氏は、「平成維新とは、日本が名実共に先進国たらしめるための内なる革命である」と言いましたが、その内なる革命は「北海道の分県から」と言いたいのです。

◎ 出席報告

会 員 数	63名	出 席 率	函 館 北 10月11日	90.00
出 席	32名		函 館 東 10月10日	祝日休
欠 席	31名		函 館 10月 5日	90.48
他クラブ出席	22名		函館五稜郭 10月 6日	100.00
出席合計	54名		函館亀田 10月 9日	100.00
除 外 者	3名			

次回・11月1日  
プログラム

チャット ギャザリング

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル  
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870



# 函館北ロータリークラブ会報

ヒューM. アーチャー 国際ロータリー会長テーマ

ENJOY ROTARY!

ロータリーを楽しもう!



国際ソロブチミスト函館 会長村岡光子氏のごあいさつ

《第1275回例会》 第18号 11月1日(水)

本日のプログラム

チャット ギャザリング

★会長 松橋 博 ★幹事 西尾 昌一